

本年の展葉の段階では、昨年より 5 日程度遅れている状況です。このまま経過すれば、ふじの開花は昨年並みと予想されます。ただし、生育が停滞している年ほど、急激な気温上昇で開花まで一気に進む可能性もありますので、各園の生育状況をよく確認し、適期の管理作業・薬剤散布に努めてください。

5 月上旬の重点作業はふじの人工受粉作業です。実際の開花期を迎える前に土壌かん水や摘花作業等受粉環境の整備を進めることで結実率は向上します。高品質生産の第一歩は結実確保です！

前回に引き続き、黒星病・黒点病の重要防除期となっています。開花期から 5 月末までの防除間隔は概ね 10 日として進めてください。予防散布を基本としていますので、雨が続く予報が出た場合は、前倒し散布をするようにしてください。

## りんご



ふじ生育状況調査(調査地点:平岡)					
* 展葉時点: 前年比-6日、平年比±0日					
年度	発芽	展葉	開花	満開	落花
平年	4/4	4/15	5/1	5/5	5/10
H25	4/1	4/9	5/2	5/6	5/13
H26	4/3	4/15	?		

### ～ 注目 ～

展葉の段階で、南部と北部地帯では 6 日程度の生育差があります。

本年の開花は、地域や土壌条件により前後しますが、小田中沖で 4 月 28 日前後、平岡付近で 5 月 2 日頃と予想しています。

## ◆ 開花期の薬剤散布

散布時期は、蕾のセパレート状態（中心花と側花の蕾が離れた状態）が確認された以降から、ふじの花が 1～2 輪咲いた時が適期となります。

散布時期：4/28 ～ 5/5 頃 \*注意事項①、②、③参照

\* 上記は目安となります。各園の生育状況を良く確認してから散布しましょう。

散布薬剤：水

100<sup>リットル</sup>

展着剤

10ml

オンリーワンフロアブル 50ml (14 日前、3 回) \*注意事項④、⑤参照

対象病害虫：黒星病・黒点病・赤星病・うどんこ病・(アブラムシ類)

10 アール当り散布量：400<sup>リットル</sup>

散布日 月 日

散布量 リットル

【注意事項】 \*必ずお読みください。

- ① 訪花昆虫の保護のため指定薬剤以外使用しない。
- ② 収穫中の他作物等への飛散に注意する。
- ③ 黒星病等の一次感染を抑えるため、雨が続く前に散布することを基本とする。
- ④ オンリーワンフロアブルに代えて、オーシャインフロアブル 3,000 倍 (7 日前、5 回) でもよい。
- ⑤ 開花前が高温で、アブラムシ類の発生が早い場合は、ウララ DF2,000 倍 (14 日前、2 回) を加用する。
- ⑥ 不明な点は、営農センター担当までお問い合わせください。(TEL23-3933)

注目！

落花期の薬剤散布は裏面をご覧ください。

## ◆ 落花期の薬剤散布

散布時期は、前回より 10～12 日後とする。（ふじの落花後を目安）  
開花期の薬剤散布以降、雨が続けている場合は、前倒して散布する。

散布日 月 日

散布量 リットル

散布時期：5/10 ～ 15 頃 \*注意事項①、②参照  
\*上記は目安となります。遅れないように散布しましょう！

散布薬剤：水 100 リットル  
展着剤 10 ml  
サムコルフロアブル10 20 ml（前日、3回）\*注意事項③参照  
スコアMZ水和剤 200 g（30日前、3回）\*注意事項④参照

対象病害虫：黒星病・黒点病・赤星病・うどんこ病・（アブラムシ類）  
ハマキムシ類、ケムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ

10アール当り散布量：450 リットル

【注意事項】 \*必ずお読みください。

- ① 生理落果を助長するため、この時期より落花 20 日頃（5月末）までは有機リン剤（ダズバン DF、サイアノックス水和剤、ダイアジノン水和剤等）を使用しない。
- ② 6月末まではサビの発生しやすい時期なので高温時の散布は避けること。
- ③ サムコルフロアブルに代えて、フェニックスフロアブル 4000 倍（前日、2回）でも良い。
- ④ スコアMZ水和剤に代えて、アスパイア水和剤 500 倍（30日前、3回）でもよい。

【ふじの人工授粉のポイント】 \*下記を良くお読みください。

- ① 人工授粉を実施する時は、気温・湿度・天候等の授粉環境を複合的に考慮すること。（降雨・強風・極端な低温（最高気温 20℃以下）・極端な高温（30℃以上）の日はできるだけ避ける）
- ② 基本的に開花始めから満開期までが授粉能力が高い。よって開花始めから満開までのできるだけ早い時期に実施すると結実率が高くなる。
- ③ 授粉後 3 時間は極端な低温とならないような日を選択すること。（あまり遅い時間まで実施しない）
- ④ 授粉後に降雨があった場合は、3 時間以上経過していれば大丈夫であるが、3 時間以内に降雨があった場合は再度やりなおすこと。
- ⑤ 土壌が乾燥していると開花が揃わない傾向がある。乾燥が続く場合は、開花予定の 10 日前に灌水を実施すると効果が高い。

（参考）中生 3 種とふじの交雑和合性

♀	♂	ふじ	秋映	シナノ スイート	シナノ ゴールド	メイポール
秋映	○	×	○	×	○	
シナノスイート	○	○	×	○	○	
シナノゴールド	○	×	○	×	○	



## ◆ 凍霜害を受けた場合の応急技術対策

1. 胚珠の黒変したものは、落果するので、被害程度に応じて摘花(果)の強さを加減する。
2. 被害を受けたものは、サビ果・不正形果が多いので、摘果に際しては特に傷の少ない長めの正形果を残す。
3. 摘果は結実が確実となったらすみやかに行き、少なくとも満開 30 日以内に終了する。